

小田川の河川敷を自慢の愛車で疾走する選手の皆さん



オフロードで行う自転車競技「第7回小田川シクロクロスinうちこ大会」が10月27日、豊秋河原で開かれました。年齢別や熟練度別の7つの部門、チームで参加できる耐久レースに延べ215人が参加し、熱戦を繰り広げました。

お知らせ

シクロクロス全日本選手権大会

●日時 12月7日(土)・8日(日)

▷7日 午前10時～

▷8日 午前8時30分～

●場所 豊秋河原

【問い合わせ】

建設デザイン課 管理係

☎0893(44)6157

最高峰の選手が集う

河川敷を駆け抜ける風になれ——
「小田川シクロクロスinうちこ大会」

「内子町のいのちの授業」が11月15日、内子中学校で行われました。3年生79人が参加し、有志の母親と赤ちゃん24組と交流を楽しみました。

生徒たちは母親たちに子育ての話を聞いたり、赤ちゃんを抱っこしたりして、小さな命の尊さや

赤ちゃんから学ぶ、命の尊さ
内子中で「内子町のいのちの授業」

戸惑いながらも、赤ちゃんとの触れ合いを楽しむ生徒たち



上_素晴らしい演奏を聞かせてくれた児童たち 下_稲本隆壽町長から上杉夫妻に感謝状が手渡された

町内の小・中学生が合唱や演奏を披露する「第15回内子町音楽発表会」に合せて「上杉誠一氏感謝状贈呈式」が11月6日、文化交流センターサルで行われました。

上杉さんは「心に届いた演奏をいつまでも忘れない。成果が発揮できるよう、思う存分練習してほしい。皆さんの演奏する姿や笑顔を見ることを楽しみにしている」とエールを送りました。

楽器や図書を寄付した上杉夫妻へ
感謝の思いが伝わる「音楽発表会」

町してもらいました。

同会では各校の吹奏楽部や児童・生徒の代表などが全21曲を披露。楽器と歌声を響かせて、観客を魅了しました。

上_「90歳でモンブランに登る」と語る三浦さん
下_講演後、城本さん(左)と固い握手を交わした

内子町文化交流センタースバルの開館20周年を記念した「三浦雄一郎講演会」が10月26日、同館で行われました。三浦雄一郎さんは世界的に有名な冒険家で、80歳でエベレスト登頂に成功するなどさまざまな世界記録を樹立しています。

三浦さんは引退後の苦難、復活までのトレーニングの話などを交えながら、「夢や希望を持つと不思議な力が出る。エベレストに登る方法は、小さな一歩を繰り返すだけ。あきらめなければ夢はかなう」と、約550人の観客に力強いメッセージを送りました。

スバル20周年の新たな輝き——
冒険家・三浦雄一郎さんの講演会アーティスト・イン・レジデンス
滞在型創作活動で輝いた舞台
内子座特別公演「光垂れ〜る」

劇団オーガンスとぼこクラブによる内子座特別公演「光垂れ〜る」が11月10日、内子座で開かれました。ぼこクラブの5人は約1カ月間、内子町に滞在。ワークショップによる出演者選出をはじめ、脚本や舞台演出など、一から舞台演出を創りました。

公演は町内業者の協力で作られた舞台装置、迫力あるダンス、生と死の意味を問う深い物語など、見どころが満載。感動の舞台に、来場した550人の観客から大きな拍手が送られました。

1_格好いい音楽とダンスが観客を魅了 2_公演前にも楽しい芝居前説で会場を盛り上げる 3_懐かしいドラマを連想させるシーンで会場の笑いを誘う 4_圧巻のクライマックス 5_公演後のトークショーで1カ月の苦労などが語られた

